



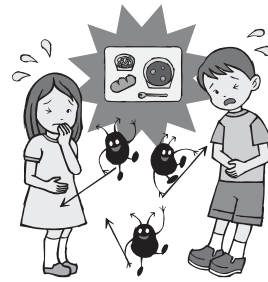
今回は食中毒の大部分を占める細菌性食中毒について説明します。細菌性食中毒は、名前のとおり細菌(ノロウイルス)はこの部類に入らない(が「ト」に感染して起こる食中毒)です。予防方法としては、「予防の三原則」として、

# 感染型と毒素型の2つに大別

## “つけない、増やさない、やっつける”で予防



言葉をよく聞きます。これは、食中毒の原因となるものを「つけない」「増やさない」「やっつける」(3原則)を意味します。では、なぜこの三原則が効果的なのか考えてみたいと思います。細菌性食中毒は、大きく「感染型」と「毒素型」に分かれます。食品中で繁殖した食中毒菌を食品と一緒に食べてしまったり、起こる食中毒を「感染型食中毒」といいます。一方、細菌の中には、食品中で繁殖して毒素を産生するものがあります。この毒素を食品と一緒に食べることによって、食中毒が起きる場合があります。これが「毒素型食中毒」です。つまり、食品に食中毒の原因となる細菌をつけないこと、ついたらとしても増やさないことが効果的であることがわかります。具体的には、食品を取り扱う手指や調理器具は洗浄・消毒することで、食品を低温で保管するなどです。最後に「やっつける」ですが、これは食品を加熱調理することで細菌を死滅させることです。



以上のように三原則には、食品中で繁殖して毒素を産生するものがあります。この毒素を食品と一緒に食べることによって、食中毒が起きる場合があります。これが「毒素型食中毒」です。つまり、食品に食中毒の原因となる細菌をつけないこと、ついたらとしても増やさないことが効果的であることがわかります。具体的には、食品を取り扱う手指や調理器具は洗浄・消毒することで、食品を低温で保管するなどです。最後に「やっつける」ですが、これは食品を加熱調理することで細菌を死滅させることです。

梅雨から夏になると、気温と湿度が上昇して細菌が繁殖しやすい季節となり、細菌性食中毒が増えます。「つけない、増やさない、やっつける」を意識して、安全な食生活を過ごしてください。

(食品検査課 前 後江)

### 第53回 環境保健夏季大学開催のお知らせ

この研修会は、住みよい環境づくりと生涯にわたる健康づくりをめざして地域ぐるみの実践活動を展開している県内の地区衛生組織の関係者が一堂に会し、活動を盛り上げるために必要な知識や方法論を学ぶものです。また、参加者同士の体験を交流を通して、今後の環境保健・公衆衛生の向上と活性化を図ることをねらいに開催します。

【日 時】平成26年7月10日(木)～11日(金)  
1日目:開始 13:00 2日目:終了予定 15:00

【場 所】グリーンピアせとうち  
(呉市安浦町三津口326-48 Tel:0823-84-6624)

【対象者】○市町公衛協役員及び事務局担当者で、これまでの夏季大学への参加が5回未満の方  
○市町公衛協事務局サポーター養成事業を実施する公衛協の事務局員および機能リーダー  
○研修内容を考慮し、適任と思われる公衛協関係者の方

【プログラム】  
<1日目>「健康」をテーマとした全員参加の活動紹介&ポスターセッション  
情報提供:「広島県の進めるがん対策と住民運動(仮)(県健康福祉局)」  
<2日目>「環境」をテーマとした全員参加の活動紹介&ポスターセッション  
講演「エクササイズで広める健康コミュニティ(仮称)」  
講師:フィットインジャパン株式会社 代表取締役 手嶋 恵 氏  
一万人の食チェック事業お楽しみ抽選会

●ポスターセッションでは、市町公衛協で展開している「環境」「健康」に関する実践活動の事例発表、情報交換を実施します。各市町公衛協ブースで、展示や配布可能な写真やチラシ、報告書などありましたらご持参いただき、情報交流にお役立てください。

### 平成26年度ひろしまクールシェア実施のお知らせ

#### 涼しさのおすそわけ 広島県

広島県では、夏の節電対策として、電力需要が最大となる平日昼間の時間帯に家庭のエアコンを消し、公共施設や商業施設等に出かけて涼しさを分け合うことで家庭での電力使用量を削減し、地域全体の節電につなげる「ひろしまクールシェア」の取り組みを平成24年から実施しています。

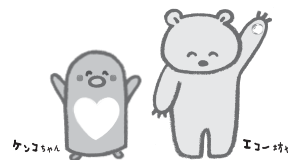


昨年は411の公共・商業施設が参加し、約9,800kwの節電効果が得られました。今年も過去3カ年と比べて最も低い供給予備率となるため、県としても引き続き節電への取り組みを積極的に行ってまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。

- 実施期間:平成26年7月10日(木)から9月19日(金)までの平日13時～16時
- 実施内容:公共施設 対象施設でスタンプを押し、10回分のスタンプで応募すると、抽選でプレゼントを進呈
- 商業施設 県内の百貨店やショッピングセンターなどでタイムセール、割引券の配布、プレゼント、ドリンクサービスを実施

詳しくは広島県ホームページ [ひろしまクールシェア](#) 検索

### 平成26年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成26年度で55回目を迎えます。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円) **7,689,710**

市町名	募金額(円)	達成率(%)
呉市	0	0.0
府中市	897,000	81.6
海田町	990,000	160.0
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	0	0.0
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	1,542,550	241.4
廿日市市	2,611,910	165.1
廿日市市佐伯	309,671	126.8
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市宮島	0	0.0

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	0	0.0
北広島町	0	0.0
安芸高田市	0	0.0
東広島市	0	0.0
三原市	1,262,230	57.7
世羅町	0	0.0
尾道市	0	0.0
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	0	0.0
庄原市	0	0.0
その他	76,349	-
合計	7,689,710	21.0

Q. 環境協分配金は何に使われているの?  
A. 平成25年度は、8,937,094円が環境協に配分され、公衆衛生推進委員の育成・養成や、環境と健康の学習ルームの運営など、公衛協の実践活動の支援に係る事業費の一部に充てられています。

●環境と学習ルームの運営...約10万円  
環境や健康教育の教材を貸し出しています。この度、ごみ減量を呼び掛ける事業で貸し出しているはんでん(30着)をリニューアルいたしました。



市町別一覧表(平成26年5月末現在)

※この表は、平成26年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。